



私の  
**なんとか  
しなきゃ!**

Vol. 47

## PROFILE

1970年アメリカ・コロラド州出身。ハーバード大学比較宗教学部卒業後に来日。福井県で英語講師として過ごした後上京し、役者の道へ進む。97年にお笑いコンビ「パッケンマッケン」を結成。テレビやラジオ出演をはじめ、執筆活動や映画の字幕監修など幅広く活躍。2012年より東京工業大学非常勤講師。出演番組に『未来世紀ジバンク』（テレビ東京、毎週月曜22時～）など。

実は20数年前に日本に来るまで、全く日本には興味がなかったんです。それどころか、海外ですらメキシコとの国境を10分くらい越えたことがあるだけ。外の世界とは無縁の生活を送っていました。

ところが大学卒業後、人生が大きく変わりました。中学の時から親友が日本で英語を教えることになり、一緒に行ってみないかと誘われたのです。その時、彼が別の国に行くと言ったら、日本とは一生縁がなかったかもしれません。そう思うとこれは運命だと思います。

それまで抱いていた日本のイメージは、暗くてまじめ、勤勉なサラリーマン。でも実際に来てみて、大きく変わりました。みんな楽しくて、優しい人ばかり。自然もきれいで食べ物もおいしく、一気にこの国が好きになりました。最初は日本語はできなかったのですが、周りのみんなが先生ですから、毎日誰かと話すこと全てが勉強でした。最初の2年半を過ごした福井は僕にとっての青春です。

日本で生活することで、生まれ育ったアメリカについても発見がありました。宗

教一つ取ってもそう。小さい頃から道徳は宗教とつながっているという教えを受けてきましたが、日本は人がやるべきこととして考えています。銃もみんなが当たり前のように持っていたけれど、完全になくなってしまう安全な社会をつくることできる。それは全て、母国を離れなければ気付かなかったことです。

最近プライベートでは、アジアの国々によく足を運びます。とても優しく人なつこい人が多く、子どもを見る目が優しいのが印象的です。そして、特に強く感じるのが生命力。スラムで雨にさらされて暮らしている人たちなど、厳しい環境の中から生まれた力強さがあります。

また西洋化しながらも、それぞれの国の味や雰囲気の色濃く残っています。日本もアメリカも、先進国はどこか均一化されてしまっていて、個性を失いつつあり、開発途上国の伝統を守り続ける精神を見習わなければならないと思います。

でも、やはり気になる場所もたくさんあります。その一つが治安です。貧しさ故に起こる問題でもありますが、腐敗し

## 国際協力で世界を平和に

## タレント パッケン

Patrick Harlan



た社会はやはり変えていかなければならない。賄賂や犯罪は、本人はもちろん、家族や地域、国など、誰のためにもなりません。衛生環境や感染症も心配です。そのような課題一つ一つを、日本の経験を生かして解決している国際協力の取り組みは素晴らしいと思います。

世界各地で日本人が現地の人に寄り添い、汗を流して活動しているのには本当に頭が下がります。そのように国際協力を通じてさまざまな国と信頼関係を築いていくことは、安全保障にもつながると確信しています。僕も多くの国に足を運んで、現場で何が起きているのかをもっと見て、皆さんと話をしてみたい。途上国から学びながら、成長していければいいですね。

「なんとかしなきゃ!プロジェクト」は、開発途上国の現状について知り、一人一人ができる国際協力を推進していく市民参加型プロジェクトです。ウェブサイトやFacebookの専用ページを通じて、さまざまな国際協力の情報を発信していきます。

なんとかしなきゃ で 検索